（日本史 A プリント(9)）

Ⅰ、近代国家の成立　3. 立憲国家の成立と日清戦争

e. 諸法典の編纂

①法典の整備…[1　***ボアソナード***　]を顧問としフランス法をもとに整備

(a)　***平等な人権をもつ個人の尊重・契約を重視***

↓

1890 年　[2　***民法典***　]論争＝「(b)　***民法出デテ忠孝亡ブ***　」との批判

大幅に修正…封建的[3　***家族***　]制度をのこす。

([4　***戸主***　]の家族員への強い権限、[5　***家督相続***　]制度、男女不平等)

②刑法＝天皇に対する[6　***大逆***　]罪や[7　***不敬***　]罪の存在

女性への差別的内容([8　***姦通***　]罪など)

f. 初期議会

①[1　***黒田清隆***　]内閣…[2　***超然***　]主義を唱える　(c)　***政府は議会の意向に左右されない***

② 1890 年衆議院議員選挙…[3 ***民***　]党(旧民権派＝立憲自由党・立憲改進党)の大勝←→吏党

＝[4 ***政費節減***　][5 ***民力休養***　]要求

第一次 [6　***山県有朋***　]内閣＝超然主義をとり[7　***議会***　]と激しく対立

→自由党の一部を切り崩し予算を成立させる

↓

第一次松方正義内閣→衆議院を解散、品川内相を中心に激しい[8　***選挙干渉***　]をおこなう

→失敗におわる

③第 2 次[9　***伊藤博文***　]（「元勲総出」）内閣

＝[10　***立憲自由***　]党に接近、詔勅も利用し、海軍軍備拡張に成功

←立憲改進党など激しく反発

g. 条約改正

①　明治政府の外交上の最大の課題＝[11 ***不平等条約***　]の改正

ポイント　(d)　***領事裁判権(治外法権)の撤廃***　　(e)　***関税自主権の回復***

1871　[12 ***岩倉遣欧使節団***　]

②　1878　[13　***寺島宗則***　]→対米・税制回復を中心に交渉→英仏の反対で挫折

③　1882 ～ 87　[14　***井上馨***　]外務卿

・[15 ***欧化***　]政策をとる→[16 ***鹿鳴館***　]時代、日本語の[17 ***ローマ字化***　]など

・国内を外国人に開放([18 ***内地雑居***　])、[19 ***外国人判事***　]の採用、欧米風の法典編纂

・領事裁判権撤廃と関税一部回復の実現を図る

↓

[20　***国権主義***　]の台頭…三大事件建白運動のたかまり

④ 1888 ～ 89　[21　**大隈重信**　]外相＝国別交渉（米･独･露との間の条約調印）
　　･大審院への外人判事任用をめぐり、批判高まる→右翼におそわれ失脚

⑥ 1891　[22　**青木周蔵**　]外相…イギリスとの間で合意成立（←ロシアとの対抗上）
　　→[23　**大津**　]事件で辞任
⑦[24　**陸奥宗光**　]外相（青木駐英大使）… 1894　日英通商航海条約成立
　　→他国とも合意成立→ 1899 実施
　[25　**領事裁判権**　]撤廃、関税自主権一部回復、最恵国待遇の相互平等実現

⑧[26　**小村寿太郎**　]外相　1911　[27　**関税自主権**　] の完全回復

h.朝鮮問題

1876(明治9)年に日本が[28　**江華島**　]事件で朝鮮を開国させて以後，朝鮮国内では親日派勢力が台頭してきた。しかし1882(明治15)年に政府の日本接近に反対する勢力が反乱を起こす[29　**壬午**　]軍乱をきっかけに、朝鮮政府は[30　**清**　]に依存しはじめた。これに対し，日本と結んで朝鮮の近代化をはかろうとした[31　**金玉均**　]らは、日本の援助をうけクーデタ([32　**甲申**　]事変)をおこしたが，清国軍の来援で失敗した。日清両国はこの事件で悪化したが，翌1885(明治18)年[33　**天津**　]条約を結び妥協した。
[34　**1894**　](明治27)年，朝鮮で減税と排日を要求する農民の反乱、[35　**甲午農民戦争**　]が発生すると，朝鮮政府は[36　**清**　]に派兵を依頼，日本もこれに対抗して出兵した。その後、日清両国は朝鮮の内政改革をめぐって対立を深め，[37　**日清戦争**　]がはじまった。

① 1873　[38　*征韓*　]論争
② 1875　[39　*江華島*　]事件→ 1876　[40　*日朝修好条規*　]で不平等条約をおしつける
　　･朝鮮貨幣の持ち出し可、日本紙幣の使用可＝安価で朝鮮の商品を買い占める
　　→朝鮮の経済の混乱に
③朝鮮国内の対立＝それぞれ日･清と結合

清(X)

大院君(A)＝鎖国論…自主独立をめざす

閔妃(B)＝[41　*事大党*　]…開国論･富国強兵

[42　*独立*　]党(C)＝[43　*金玉均*　]･朴泳孝
　　→日本をモデルにした近代化をめざす

日本(Y)

④ 1882　[44　*壬午*　]軍乱
　日本に接近した事大党政権＝[45　*閔妃*　]一族(B)に対し、[46　*大院君*　](A)らが軍隊や民衆の支持をえて反乱、日本公使館、包囲される→日本･清両軍に鎮圧される
　　↓
⑤閔妃政権(B)…しだいに[47　*清*　](X)に接近←→日本(Y)…独立党(C)に接近

⑥ 1884　[48　*甲申*　]事変…日本(X)の支持下に[49　*金玉均*　]ら(C)反乱を起こす
　　→清の介入により失敗→日清関係の悪化
⑦[50　*天津*　]条約で日清の妥協成立→両国は朝鮮から撤兵
　　→日本、朝鮮への影響力拡大をめざし、軍事力拡大をめざす